

ふくおか電子自治体共同運営協議会 RPA共同実証試験について

目次

1. ふくおか電子自治体共同運営協議会について
2. RPA共同実証試験の概要
3. RPA共同実証試験
4. 今後について



1 ふくおか電子自治体共同運営協議会について

【 協議会の役割 】

住民サービスの向上、行政事務の効率化を目的として、福岡県と市町村が連携・協働して取り組むために平成14年10月に設立しました。

市町村の課題として、人材面、技術面及び財政面の制約があることから、協議会では各種システムの共同利用及び共同調達を進めています。

1 会 員

52市町村及び福岡県情報政策課 （計53会員）

2 構成員

会員市町村情報所管課長及び福岡県情報政策課長

3 負担金

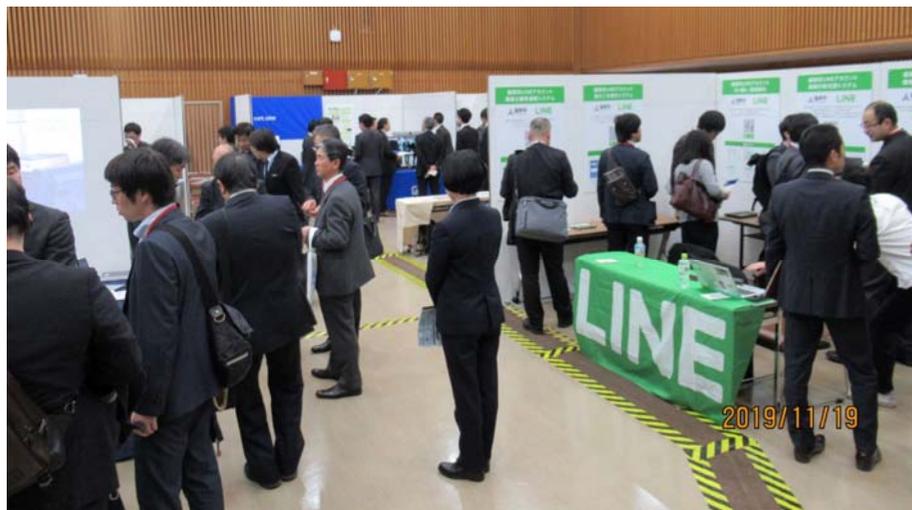
各市町村 年間 20万円

4 協議会の取組み

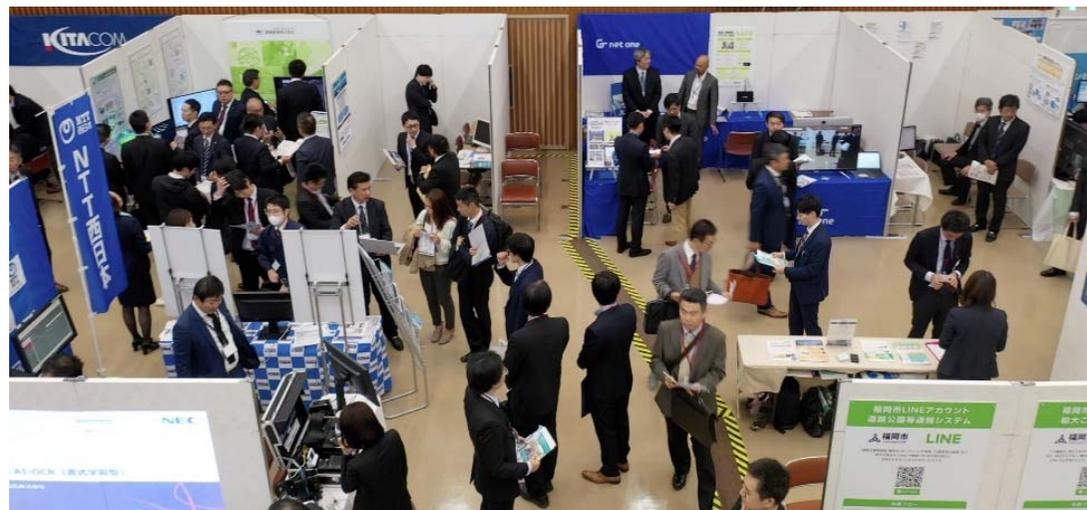
- L G W A N 設備の共同構築及び共同利用
- 電子申請・電子入札サービスの共同利用
- 遠隔地データバックサービスの共同利用
- ふくおか自治体クラウド（FMC）の共同利用
（土木積算システム、グループウェアなどのS a a S提供）
- ふく電協フェアの開催
- 各種 I T 研修の開催

1 ふくおか電子自治体共同運営協議会について

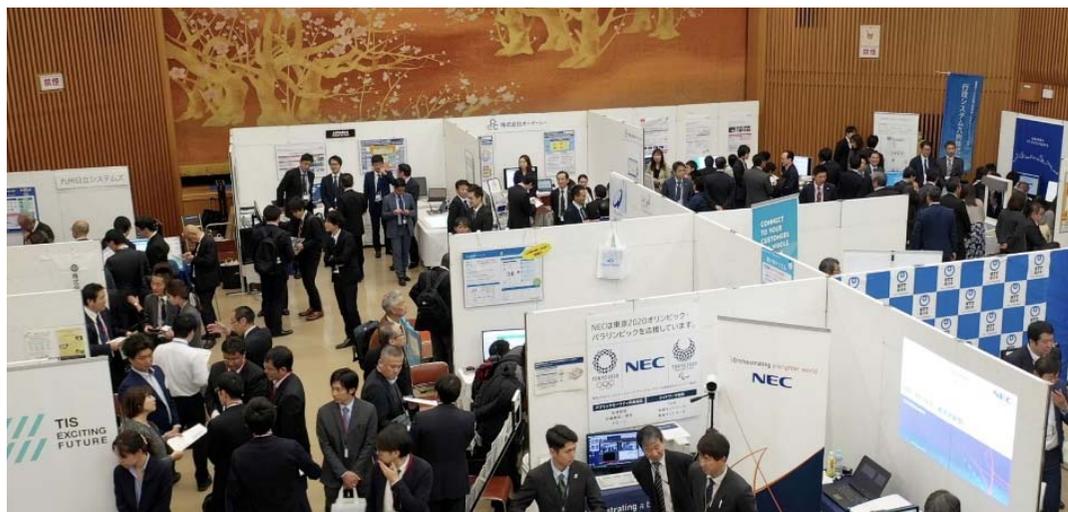
【 ふく電協フェア2019 風景 】



【 展示会場① 】



【 展示会場② 】



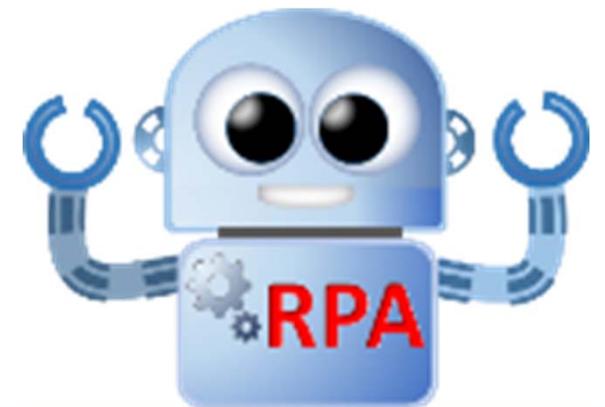
【 展示会場③ 】



【 講演会場① 】

目次

1. ふくおか電子自治体共同運営協議会について
2. RPA共同実証試験の概要
3. RPA共同実証試験
4. 今後について



2 RPA共同実証試験の概要

【 背景 】

政府は、AIやIoT、ロボット技術を活用し、様々な社会課題を解決する『Society5.0』を実現していくこととしている。

しかし、市町村においては、予算の制限や人員の不足がみられることから、県の支援や県・市町村共同の取り組みが重要である。

このような新しい技術のうち、RPA（Robotic Process Automation）については、都道府県や政令市などの比較的規模が大きな自治体では検証や導入が進んでいるが、人口規模が小さい自治体では費用対効果の面からも導入が進まない状況となっている。

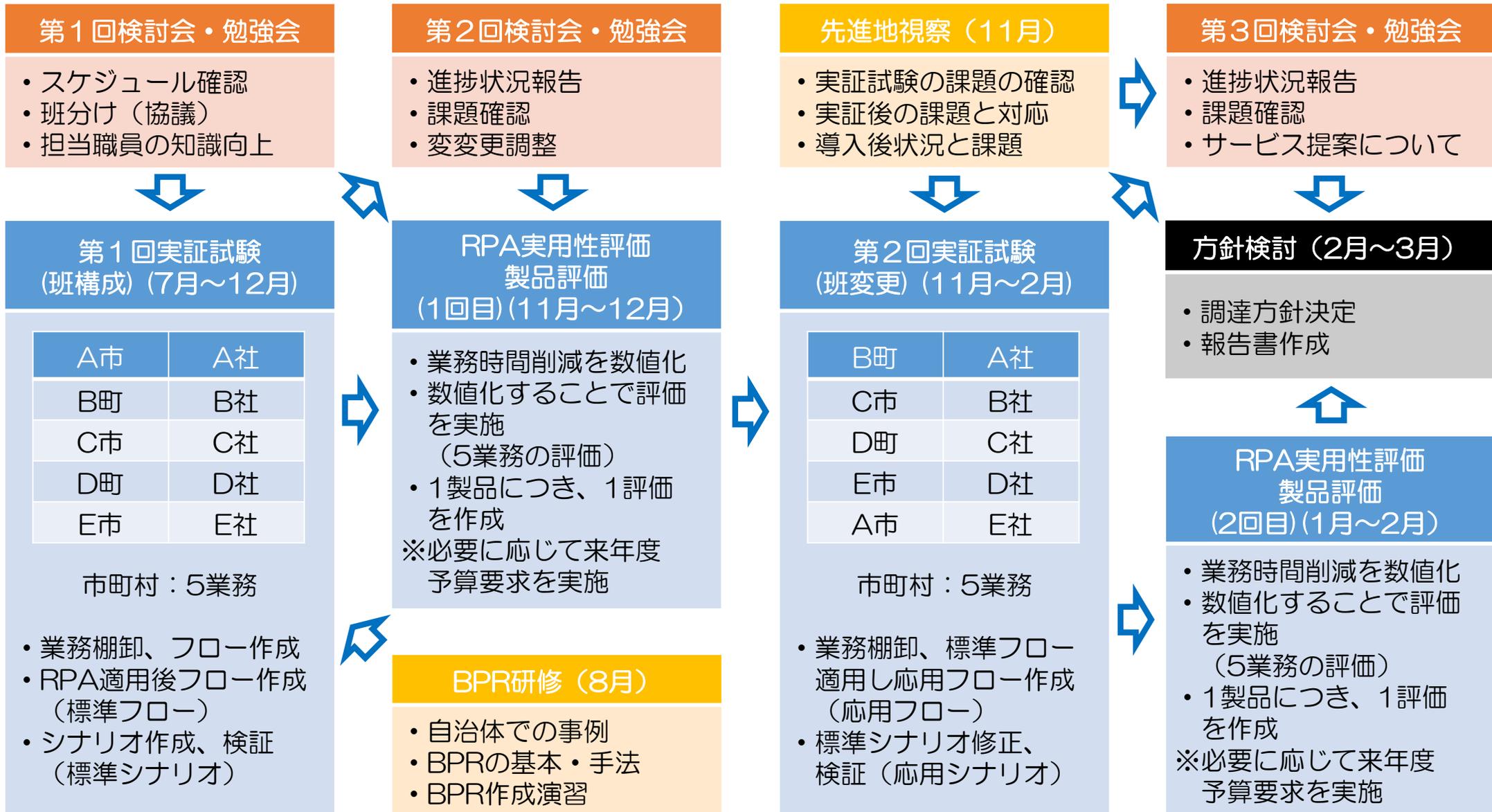
【 目的 】

比較的人口規模の小さい自治体でもRPA導入を進めるためのサービス、RPAを活用した業務フローの見直しによる生産性の向上や業務の効率化を検証し、本共同実証試験において作成したシナリオを他団体で応用することによる、フロー作成やシナリオ作成等の削減効果を検証する。

また、個別の業務削減だけでなく、共同実証試験を通じて、各団体が求めるサービスのあり方や事業者が提供できるビジネスモデルを検討することで、ふく電協の求めるRPAサービス体系を構築し、次年度の共同調達及び共同利用を目指すものである。

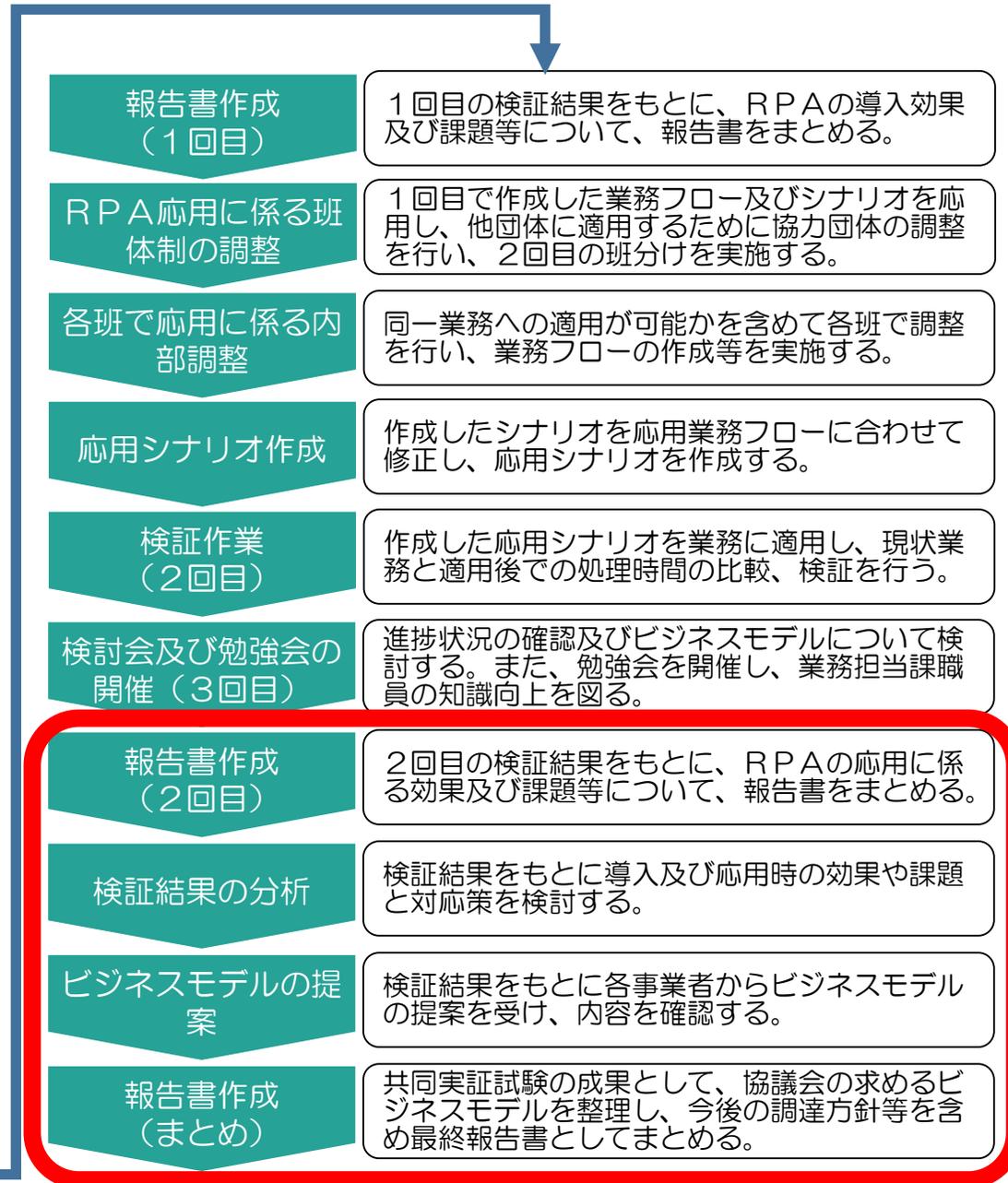
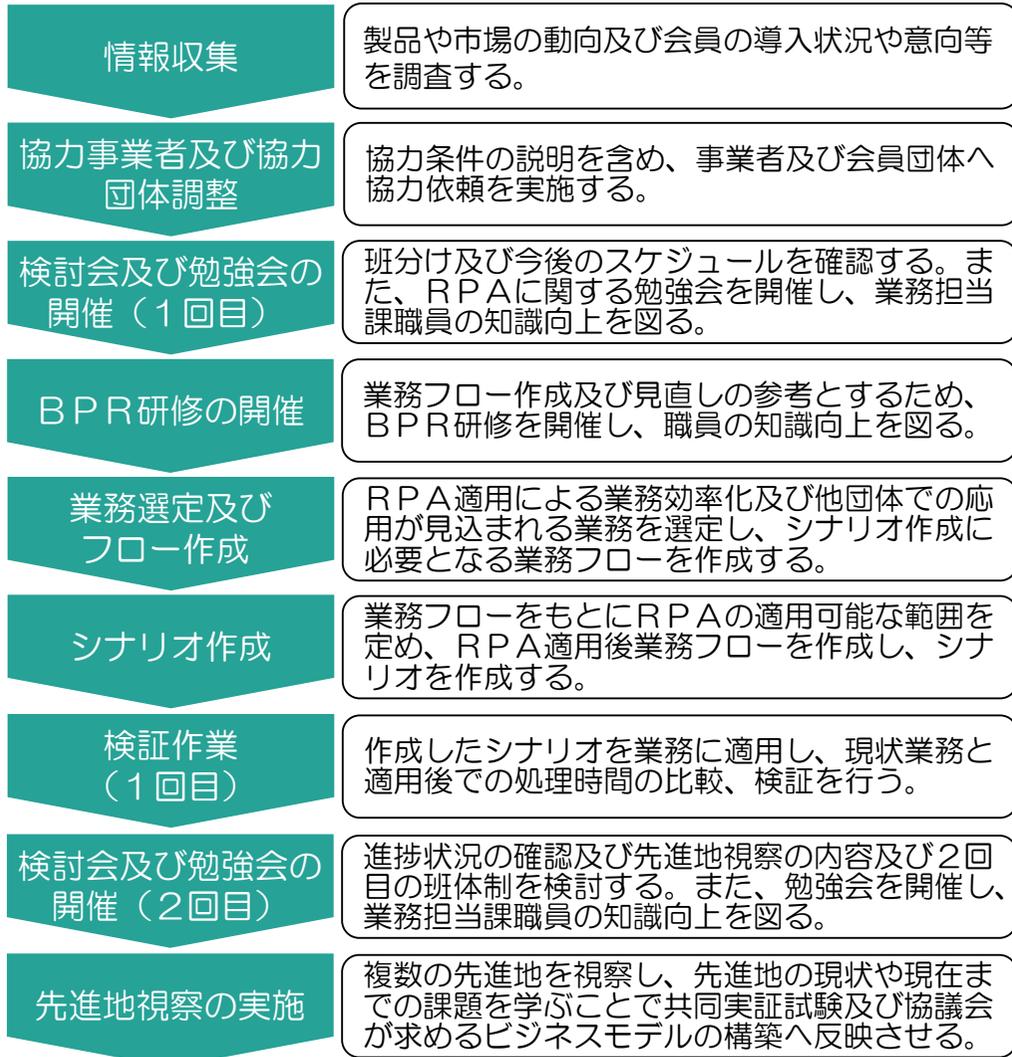
2 RPA共同実証試験の概要

【 共同実証試験フロー図 】



2 RPA共同実証試験の概要

【共同実証試験の進め方（詳細）】



目次

1. ふくおか電子自治体共同運営協議会について
2. RPA共同実証試験の概要
3. RPA共同実証試験
4. 今後について



3 RPA共同実証試験

【 第1回実証試験 】

	事業者名	協力団体名 (市町村) 課室名	選定業務	応用団体名 (市町村)
	製品名			
1	A社	志免町 総務課	人事給与、財務会計業務 (予算登録)	苅田町
	A製品			
2	B社	苅田町 総務課	時間外手当業務	—
	B製品			
3	C社	古賀市 管財課	物品業者申請登録業務	みやま市
	C製品			
4	D社	豊前市 総合政策課	ふるさと納税業務	—
	D製品			
5	E社	みやま市 税務課	市民税業務 (異動届出書登録)	大牟田市
	E製品			

3 RPA共同実証試験

【 第1回実証試験 検証結果 】



	団体名	選定業務	現状	RPA化後	削減時間 (削減率)
1	志免町	人事給与、財務会計業務 (予算登録)	108時間20分	62時間46分	45時間34分 (42.1%)
2	苅田町	時間外手当業務	50時間	18時間	32時間 (64%)
3	古賀市	物品業者申請登録業務	46時間45分	15時間35分	31時間10分 (66.7%)
4	豊前市	ふるさと納税業務	検証中	検証中	検証中
5	みやま市	市民税業務 (異動届出書登録)	42時間	17時間	25時間 (59.5%)

3 RPA共同実証試験

【 第2回実証試験 】

	事業者名	協力団体名 (市町村) 課室名	選定業務	応用団体名 (市町村)
	製品名			
1	A社	志免町 総務課	人事給与、財務会計業務 (予算登録)	苅田町
	A製品			
2	B社	苅田町 総務課	時間外手当業務	—
	B製品			
3	C社	古賀市 管財課	物品業者申請登録業務	みやま市
	C製品			
4	D社	豊前市 総合政策課	ふるさと納税業務	—
	D製品			
5	E社	みやま市 税務課	市民税業務 (異動届出書登録)	大牟田市
	E製品			

3 RPA共同実証試験

【 第2回実証試験 進捗状況 】



	団体名	選定業務	応用の可否	RPA適用
1	苅田町	人事給与、財務会計業務 (予算登録)	業務の見直し or 別業務で応用可	<u>現在適用中</u>
3	みやま市	物品業者申請登録業務	業務フローが 異なるため困難	<u>断念</u>
5	大牟田市	市民税業務 (異動届出書登録)	同システムであり、 応用可	<u>現在適用中</u>

3 RPA共同実証試験

【 実証を進める中での考え方の変化 】

実証開始時は、職員負担や管理面からベンダーへの全委託を想定



先進地視察や検証の中で導入のパターン分けを実施



- ・ 団体や業務などによって求められるパターンが違う
- ・ どのパターンでも進め方次第で成功に持っていける

【パターン1】

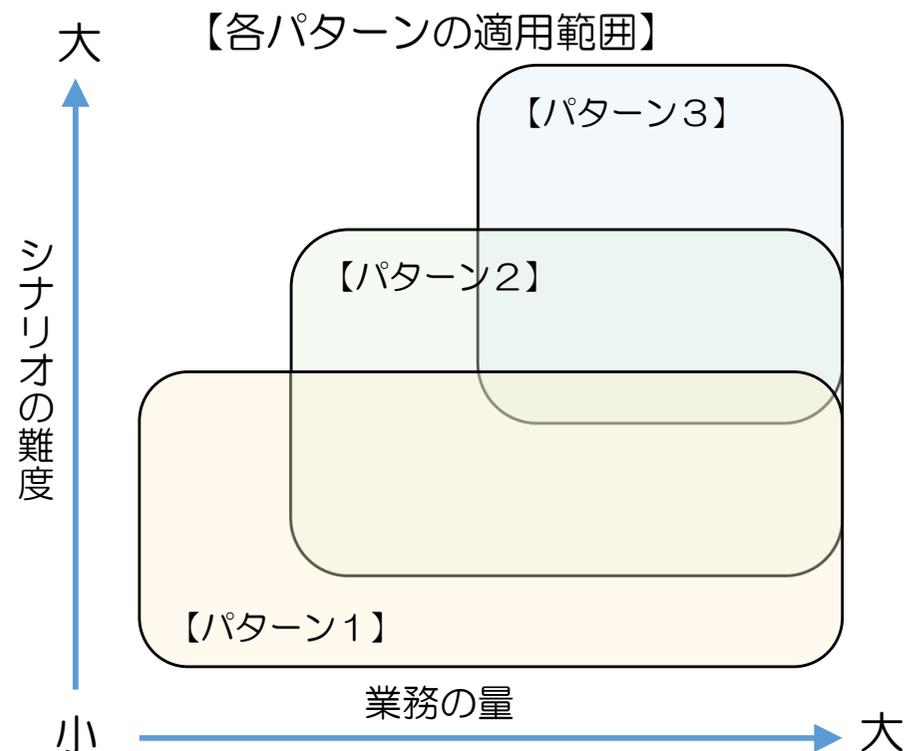
情報部門や行革部門でライセンスを管理し、各担当業務課で作成、管理する。

【パターン2】

情報部門や行革部門でライセンスを管理し、サポートをベンダーへ委託する。

【パターン3】

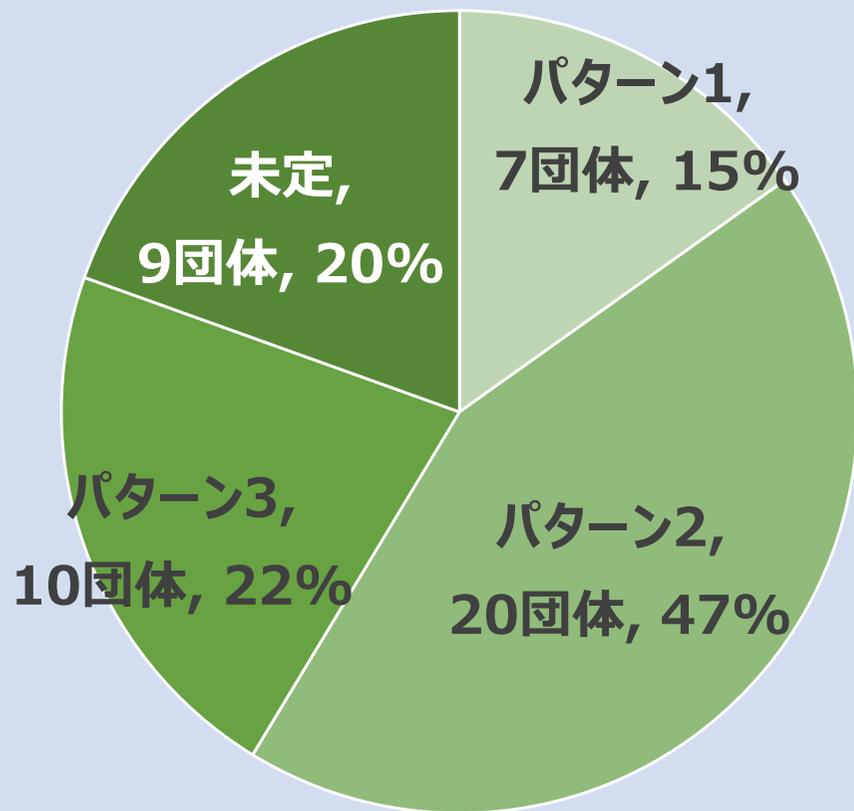
ベンダーにシナリオ作成、保守を委託する。



3 RPA共同実証試験

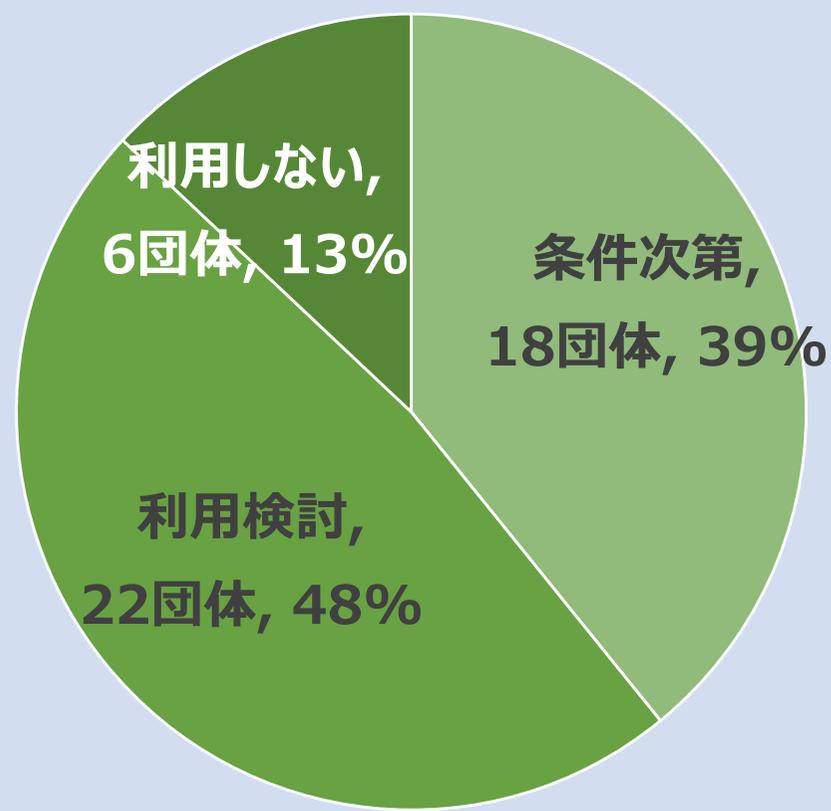
【 会員団体アンケート結果 】

導入希望パターンについて



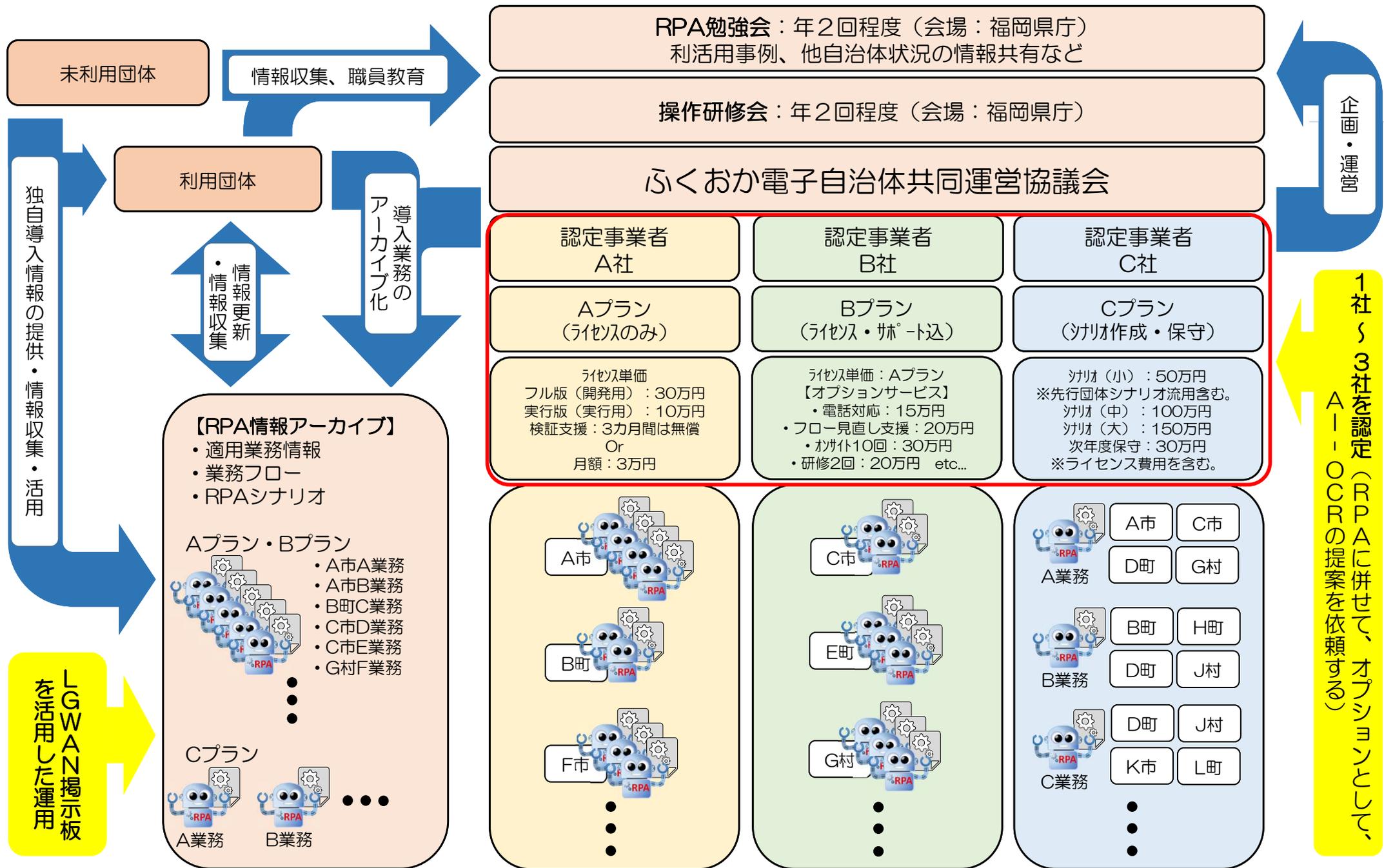
- パターン3でスタートし、将来パターン2へ
- パターン2でスタートし、将来パターン1へ
- 業務難易度に応じてプランを併用
- トライアル版で試行し、プランを選択

サービス利用希望について



- 安価で導入できること（18団体）
- 職員の負担が少ないこと（7団体）
- AI-OCRも検討してほしい（4団体）
- 費用対効果がみたい（5団体）

3 RPA共同実証試験



目次

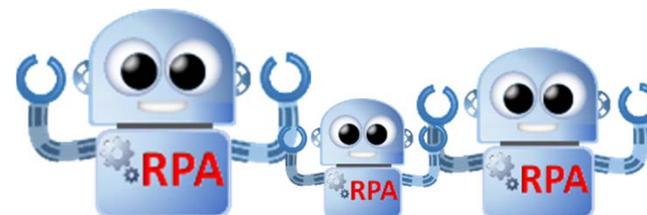
1. ふくおか電子自治体共同運営協議会について
2. RPA共同実証試験の概要
3. RPA共同実証試験
4. 今後について



4 今後について

【 導入スケジュール 】

- : 主担当
- △ : 支援/関与



大項目	中項目	事務局	検討会	ベンダ	2019年度		2020年度										
					2	3	4	5	6	7	8	9					
1	提案	サービスモデル提案	●		●												
2	調達	(1) 要件定義	●	△													
		(2) 仕様書作成	●	△													
		(3) RFI	●	△	●												
		(4) RFP	●	●	●												
3	サービス構築	(1) サービス詳細設計	●		●												
		(2) 構築	△	△	●												
		(3) 検証試験	△	△	●												
4	運用	運用開始	●		●												

ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせ先
福岡県 企画・地域振興部 情報政策課
ふくおか電子自治体共同運営協議会 事務局



宮野 紀史
TEL : 092-643-3229
mail : djk@perf.fukuoka.lg.jp